



# 学校評価(速報)～「いのち輝く学校」を目指して～

先般の「学校評価アンケート」では、お忙しい中多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。皆様からいただいた大切な「声」を真摯に受け止め、子どもたちのさらなる成長につなげるべく、集計結果の速報と分析をご報告いたします。

なお、紙面の都合上、本校の教育目標「笑顔にあふれ 一人一人のいのち輝く学校 ～考える・つながる・挑戦する～」に関連ある部分の分析・今後の展望をお伝えします。

## 1. 「笑顔にあふれ」：高い肯定感と安心感

教育目標の第一に掲げた「笑顔」については、非常に高い評価を得ることができました。

- 児童の94%（「そう思う」72%、「どちらかといえばそう思う」22%）が、学校生活の中で笑顔で過ごしていると回答しています。
- 保護者の皆様からも94%、教職員からも100%の肯定的な回答を得ており、学校全体が明るい活気に満ちていることが数字に表れています。
- また、困ったときに支え合える「温かな雰囲気」についても、児童の90%、教職員の100%が肯定しており、笑顔の基盤となる安心感が醸成されていると言えます。

## 2. 「考える・つながる・挑戦する」：学びの姿の具体化

次に、子どもたちが主体的に学ぶ姿についての分析です。

- 「考える・つながる・挑戦する姿を感じる」という項目では、児童の94%、教職員の97%が肯定しています。保護者の皆様からも88%の肯定的な評価をいただいております。
- 授業づくりにおいては、「対話を通した学び（つながる）」について、児童の86%、教職員の97%が手応えを感じています。
- 一方で、「学習の方法やペースを自分で選ぶ（挑戦する）」授業づくりについては、児童の肯定評価が84%であるのに対し、保護者の皆様の「そう思う（強く肯定）」という回答は28%に留まり、14%が「わからない」と回答されています。

この項目では、児童の肯定感に比べ、保護者の皆様の評価や教職員の自己評価がやや低い傾向にありました。「自分で考え、選び、学ぶ」授業スタイルは、今まさに取り組んでいる最中であり、ご家庭にはまだその姿が伝わりきっていない部分もあるかと存じます。今後は、子どもたちが自立して学習を進める姿をより具体的に発信していくとともに、教職員一同、さらに授業改善に挑んでまいります。

## 3. 「一人一人のいのち輝く」：互いを尊重し合う土壌

「個の尊重」と「安全」についても着実な歩みが見られます。

- 「安全教育や環境整備」については、教職員の97%、児童の96%、保護者の90%が肯定しており、いのちを守る基盤は強固です。
- 「互いの違いを認め、尊重し合う（学び合い）」については、教職員の97%、児童の89%、保護者の84%が肯定しています。

今回の結果から、「笑顔にあふれ」という目標が、子どもたちの実感として深く浸透していることを再確認でき、大変嬉しく思っております。児童・保護者・教職員の三者が、学校生活の中に多くの笑顔を見出していることは、私たちの大きな財産です。

また、「考える・つながる・挑戦する」姿についても、多くの児童がその実感を持ち始めています。特に、友だちとの対話（つながる）や、自分で考え取り組む（考える）姿勢において高い評価が見られました。今後は、子どもたちが自らの学習をマネジメントし、失敗を恐れずに未知の課題へ立ち向かう「挑戦」の場面をさらに増やしていくとともに、そのプロセスを保護者の皆様にもより分かりやすく発信してまいります。

一人一人の「いのち」が最も輝くのは、自分が認められ、自分の力で未来を切り拓いていると実感できることです。子どもたちが学校を「安心できる場所」と感じ、自らの成長に手応えを感じていることは、本年度の大きな成果です。ご家庭での温かな励ましに感謝いたします。

今回の評価でいただいた温かな励ましと、今後の課題を真摯に受け止め、年度末に向けてさらに「笑顔と挑戦」の輪を広げてまいります。

児童、保護者、教職員（各項目における肯定率）

